

1.在宅医療・介護連携推進における情報

- ・最新情報は湖西市Webサイトでご確認ください。
- 変更事項がありましたらその都度連絡いただけましたら、修正します。最新情報は下記からご覧いただけます。
- ・今回介護保険(外含む)サービス事業所紹介一覧を更新しています。



湖西市在宅医療介護連携事業URL

: https://www.city.kosai.shizuoka.jp/kenko_fukushi/koreishafukushi/4849.html

2.第1回多職種研修会(感染対策)開催

講師に市立湖西病院 感染管理認定看護師の平野はる奈氏を迎えました。標準予防策をはじめ、環境整備や洗浄、消毒など感染症予防対策について実践を交えながら実務に役立つ具体的な知識やスキルを学ぶことが出来ました。



①標準予防策 手指衛生(手指消毒剤使用して実践)



②環境整備 洗浄・消毒個人防護具(着脱実践)

▶参加者の声

- ・全員が意識をして行っていないと環境整備をしっかりと行う事は難しい為、感染対策の重要性を全員が理解する必要があると思った。
- ・基本的なことでも何回も復習したほうが良いので、繰り返し学べて勉強になった。

感染症の予防は、私たちの業務において欠かすことのできない重要な課題です。感染症対策は一人ひとりの意識と行動によって大きな違いを生み出します。今日学んだことを現場で実践し、さらに改善していくことで、より安全で安心な医療・介護環境づくりに繋がっていきましょう！！

湖西市の出前講座に市立湖西病院による「感染症について」があります。施設、病院、事業所等にも派遣できます。ぜひ活用して下さい！！

3.認知症施策推進大綱とは

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、「認知症バリアフリー」の取組を進めていくとともに、「共生」の基盤の下、通いの場の拡大など「予防」の取組を進めるとしています。

新大綱のポイントは「共生」と「予防」。「共生」では当事者の発信機会を増やす、鉄道やバスなど公共交通機関に認知症対策の作成・報告を義務付ける、成年後見制度の機関を市町村に設置するなどの施策が挙げられています。

「予防」については、新たに「認知症になるのを遅らせる」、「進行を穏やかにする」と定義され発症の進行の仕組みを解明するため科学的な証拠を収集、公民館などの通いの場を拡充し、現在の高齢者参加率を増やすという目標が掲げられました。

4.

認知症カフェとは

誰でも気軽に参加でき、認知症の方や家族が楽しめると共に、気軽に情報交換ができる場所

・数百円の利用料や茶菓代を払うだけで、買い物ついでや散歩の休憩の立ち寄りどころとして気軽に利用できる。

その場所は様々で、公民館や施設、自宅を開放したりして日常の中で実現できる

♥認知症カフェのメリット

【認知症の本人】

- ・出かける目的や場所ができることで、引きこもり防止。
- ・同じ状況の仲間や、理解者の存在により安心感を得られ気兼ねなくお喋りができる。
- ・地域の支援者と出会える。
- ・地域活動への参加で社会との関り・役割を持てる。
- ・顔を合わせることで、状況の変化の兆候を周囲が気付ける環境を得る。

♥認知症カフェのメリット

【介護する家族】

- ・同じ立場の介護家族に出会え、心の負担や孤独感から解放される。
- ・介護についての工夫やアドバイスなどの情報を家族同士で交換できる。
- ・専門家から様々なサービスや介護知識を得られる。

このスライドは、包括の保健師部会（認知症地域支援推進員）が認知症カフェ啓発目的にて、令和元年に作成したものを引用しています。

《現在市内で開催している認知症カフェ》 参加してみませんか？

- ★ ひまわりカフェ（包括：恵翔苑）：毎月第3水曜日 鷺津ひまわり広場 10:00～11:15頃
- ★ ひまわりカフェ（包括：恵翔苑）：毎月第3木曜日 川尻公会堂 14:00～16:00
相談窓口設置あり

- ★ 居場所しあわせカフェ日和Fフレンド（包括：燦光）：第1.3火曜日 日ヶ崎

※詳細は各包括支援センターまでお問い合わせください。

連携支援センター“縁”（ゆかり）開設時間 月、火、木、金の9:00～16:00 電話：053-576-4900（直通）FAX：053-576-1220

◇関係者の皆様で共有したい情報 知りたい情報がありましたら当センターにご連絡下さい。メール：kourei@city.kosai.lg.jp

編集 連携支援センター“縁” 発行 静岡県湖西市役所健康福祉部高齢者福祉課

